

上田仮説サークルニュース		9月例会	2017.09号
編集責任		遠藤 裕	
		発行2017.10.22	
〒383-0041	中野市岩船426-3	サンガーデン中野B-G	TEL0269-23-2847 携帯090-1406-9115
	メール	endo-h@cronos.ocn.ne.jp	勤務先 長野工業高校 TEL026-227-8555

9月23日(土) 上田市中央公民館 3F第1・第2学習室



午後 3:00~9:00

参加者数8名
資料総ページ164ペ

<参加者> 柳沢克央さん, 増田伸夫さん, 渡辺規夫さん, 高見沢一男さん,
池田みち子さん, 北村知子さん, 北村秀夫さん, 遠藤裕

はじめに 9月例会の参加者は8名。

レポートは, 柳沢さんから9本(新聞記事の紹介は1本にまとめました), 増田さんから2本, 渡辺さんから3本, 北村知子さんと高見沢さんから1本ずつ。合計は16本。総ページ数は164ページ。

柳沢さんは, 読書メモや新聞記事などからの資料を紹介。

増田さんは<今月の本紹介20><信州岩波講座2017>。

渡辺さんは<隕石はどこからくるに関する問題集><板倉矛盾論と科学史研究><矛盾論について考える>。

北村知子さんは<皆既日食の報告>。高見沢さんは<おだんごパズル>の研究発表, 実際におだんごパズルを製作して, 参加者にプレゼントをしてくださいました。ありがとうございました。

今回も資料発表がたくさんありました。

終了後, 「大戸屋」で夕食会。

1. 発表資料

① サークルニュース 8月例会 遠藤 裕 (13ペ)

1. 発表資料

① サークルニュース 7月例会 遠藤 裕 (14ペ)

② 読書メモ2017年8月号 柳沢克央さん (64ペ)

加藤陽子著『戦争まで一歴史を決めた交渉と日本の失敗』(朝日出版)ほか

③ 夏休み明けて最初の授業では・・・ 柳沢克央さん (3ペ)

—8月23日(水)の授業でやったこと。進路について根源的に考える—

④ 授業感想文集 柳沢克央さん (12ペ)

- ⑤ 補習に来た人のみ教える受験⑧メモ 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑥ 竹内三郎さんと私の「落語論」通信 柳沢克央さん (4ペ)
- ⑦ ブラームスのCDを聴き比べて 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑧ 紹介:「定年後の暮らしを楽しむためには」 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑨ 紹介:本物を見極める目…「いい物・偉い人に触れる」 柳沢克央さん (4ペ)
古美術鑑定家・中島誠之助さん
- ⑩ Y君の数学⑧勉強法 柳沢克央さん (2ペ)
- ⑪ 新聞記事の紹介 柳沢克央さん (2ペ)
- ⑫ 紹介:ブレないリーダーになるためのちょっとした習慣 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑬ 紹介:エスタナビ 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑭ 紹介:信毎柳壇・朝日川柳 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑮ 「ここが分かれ道だ」「続 // 」 柳沢克央さん (4ペ)
- ⑯ 紹介:大学を卒業しても正社員になれず、… 柳沢克央さん (4ペ)
- ⑰ <今月の本紹介19> 増田伸夫さん(40ペ)
[要約] イスラームとは神賛美の宗教である!
- ⑱ <信州岩波講座2017> 講義メモ 増田伸夫さん(8ペ)』
《講演「激変する世界をどう読むか」メモ》
- ⑲ 就職活動の記録 渡辺規夫さん(4ペ)
- ⑳ 夏休み子ども向け夏季講座 渡辺規夫さん(8ペ)
わくわくが科学教室《もくもく》
- ㉑ 力積か仕事か一板倉論文を読む 渡辺規夫さん(22ペ)

2. 実験の紹介 柳沢克央さん

「気体の分子運動を目で見る」実験

② 読書メモ2017年9月号 柳沢克央さん(28ペ)

小室直樹著『日本人のための宗教原論』(徳間書店)ほか

柳沢さんが読んだ本の紹介。

◇はじめに

先月号の「読書メモ」と同様、サークルで発表することを目的とすると、読書がはかどるので、今回もこのメモを作成しました。自身のため、記録を残すことが第一目的です。みなさま、よろしく(適当に)おつきあい下さい。今までのものと同様に説明あり、引用あり、要約あり、感想ありで諸々が混交しておりますのでご注意を。(私物)と書き添えてあるもの以外はすべて篠ノ井高校図書室蔵書。

私物の「積ん読」本が増え「読書予定リスト」は以前にも増して充実しています。夏休みにだいぶ消化・吸収できましたが、まだまだたくさん「課題図書」があります。読書の秋です。スムーズに流れるように「消化吸收」を進めていく予定です。

とはいっても、今月はなぜか「読書メモ」ではなく、「つれづれメモ」または「川柳日記」風になりました。「読書」をとってタイトルを「メモ」にしてみようかな、と思っただけです。最終的に「メモ」にはならなくて、少しホッとしています。

◇読書記録または読書メモ（順不同）

◎小室直樹著『日本人のための宗教原論』（徳間書店・2000年初版・2015年20刷）

◎永千絵著『父「永六輔」を看取る』（宝島社・2017年）

◎松竹伸幸著『対米従属の謎』（平凡社新書・2017年）（私物）

◎市村よしなり著『人生で大切なことはみんなRPGから教わった』（バジリコ・2010年）

◇次回以降の予告 22冊

◆まとめ・つぶやきなど ほんの一部掲載

○19日（火）夜、ホテルメトロポリタン長野で金融経済講演会 18:00～20:00。読書家で知られた出口治明氏の講演会は格調高く、滋味深い。そして愉快。名刺交換した。さっそく出口氏の著書とお薦めの本をネットで注文してみた。「詳細は別にレポート書く予定」。

○『週刊文春』「川柳のらりくらり」に応募。お題は「速達」。ハッキリ言って速達は斜陽でマイナーになりつつある存在と思うので、難しい。「〔速達〕とメールにオビを入れてみる」「速達のつもり髪染め君のもと」「ドローンで速達届く日も近い」「ガラケーに速達夕刊そして俺」「君と逢ういつも気分は速達で」

*

最後までおつきあいいただき、ありがとうございました。「予定より五日遅れて完成す」。これから、さっそく次回10月分の執筆に今日中に取りかかる予定。「最後まで読んで下さりありがとう」。（終）〔2017年9月20日（水）12:45脱稿〕

（読書メモの内容もさることながら、前回に引き続き「まとめ・つぶやきなど」がとても充実しています。11ページ分で50項目。思いついたことをメモに取っているとのこと。 エドワ）

③ 紹介：島地勝彦著『知る悲しみ』（講談社・2011年） 柳沢克央さん（4ページ）

ーやっぱり男は死ぬまでロマンティックな愚か者ー

『知る悲しみ』から6ページ分の紹介。

○資生堂名誉会長の福原義春さんの上梓した『私は変わった変わるように努力したのだ』（求龍堂）という本の「福原語録」から。

◆「果報は寝て待て」では幸運はやってこない ・強運の人の運に関する至言 「運のいいと思われている人は、よく人の話を聞き、いろいろな見聞を広め、面倒がらずに人に会いに行き、よく行動するというような面をもっている」「よく働く人は、本人も知らないうちに、『偶然』や『運の種』をまいている」 ・社長についての名言 「よく『会社を革新する』というが、何を一番先に革新しなければならないかといえば、それは『社長自身』である」 ・蘭の栽培 「私は欄を栽培しているとは思っていない。常々一緒に生きていると思っている。そう考えると、経営も教育も同じだと気がついた。」 「人を育てられない人は結局、自分も育たない。そういう人は役職の席に座っている資

格がない」 ・リーダーシップ論 ・仕事から 「『価格』は見えますが、『価値』は見える人にしか見えません」 ・新聞記者のやりとりから 記者「あなたの個人財産はどれくらいですか？」 福原「私の唯一の財産は私のエスプリです。これは価格換算も売買もできるものではありません」

○不出生の天才学者、小室直樹氏の人物像を伝える二編。

◆「名著は同じ書を最低 20 回読むことです」

まだソ連がアメリカを相手に元気だったころ、『ソビエト帝国の崩壊』（光文社）という名著を書いた。「どうしてあんな大胆な発想が閃いたのですか」と、わたしは大学者に訊いたことがある。「それは、シマジ君、貯金しても利息がつかない国民はいずれやる気を失うものです」この伝でいくと、いまの日本国は危ない。『日本人のためのイスラム原論』の上梓。

◆「田中角栄は天才だ！」と叫びながら踊り出した

田中角栄のロッキード事件初公判のときの対談 「たった 5 億円であんな天才政治家を裁くのは愚の骨頂だ！」と小室先生がぶった。「第一、アメリカの証人喚問は日本では使えないのが法律の常識だ！」と谷沢教授がぶった。しばらくすると、大学者の二人は立ち上がり「田中角栄は天才だ！田中角栄は無罪だ！」と叫びながら、部屋中狭しと踊り出した。そのころ、ほかのマスコミは田中角栄を叩きに叩いていた。

柳沢さんのひとこと 小室氏はまだ正当な評価があたえられているとは言えない状況だ。何が原因なのだろうか。

（資生堂名誉会長であえう福原義春氏の『私は変わった変わるように努力したのだ』という本もとてもおもしろそうです。／小室直樹氏は大天才で、ソ連の崩壊を予言した『ソビエト帝国の崩壊』、『日本人のためのイスラム原論』などを上梓。天才田中角栄が大好きだったとのこと。田中角栄のどんなところが天才だったのか調べてみたい気がします。 エンドリ）

④ 「Yahoo! 知恵袋」より紹介 「鹿児島の人にお聞きします。芋の甘い香りを一番楽しめる芋焼酎の飲み方を教えてください」 柳沢克央さん（4 ぺ）

芋焼酎の飲み方の紹介。

◆柳沢さんのまえがき…『週刊文春』に「川柳のらりくらし」というコーナーがある。2017 年 9 月 6 日（水）締切のお題は「芋」。これに応募したいと思い、9 月 3 日（日）午前、勉強のためにネットで検索。なかなか面白い「やりとり（問答）」を発見したので、コピペして紹介する。焼酎はなかなか「奥が深い」。これを読んで、芋焼酎の飲み方も「戦略的」に考えたほうが楽しそうだと思った。川柳は適当なところで清書して昼前に投函。では、「拾いもの」のほうをどうぞ。

<一部分紹介> 回答者 4・・・お湯割りでは焼酎を浮かべるように注いで（混ぜないで）、お湯の熱で焼酎を爛しなきやダメでしょ。で、半分飲んだら残りは極度

に薄まっているから、捨てるんだよ。もったいないだろ？だから、前日に割り水して保管したものに爛つけければ、酒の全量を飲めるんだよ。

◆柳沢さんのあとがき…酒の飲み方は好き好き。それはそれとしても、こうした蘊蓄話を読むのは（真偽のほどはともかく）楽しい。飲み過ぎに気をつけて、適度に、仮説実験的に楽しんでみたい。2ページにある「4M」つて何だろう？…と思って調べたら、『魔王』『森伊蔵』『村尾』『高騰』などの銘柄などのことだと分かった。こうしたこと（銘柄の多さ）からも、奥が探そうであると感じられた。焼酎に詳しい方、いろいろご教示ください。

（焼酎について、「基本はお湯割り（爛でも）が香りをいちばん感じて飲めることができます！」「初心者の方は、今日は寒いからお湯割りなど書いてあるのをよく見かけますが、焼酎は基本的に体を冷やす酒なので×ですね」とのこと。お湯割りは、「グラス半分から先は捨てる」というのははじめて知りました。 エドワ）

⑤ 紹介本シリーズ① 「道は開ける」 柳沢克央さん（4ペ）

ブログの紹介。出典 <https://agri-marketing.jp/2017/08/24/post-6579/>

◆紹介者のまえがき……このブログの著者・長谷川正之さんは私の（少し年上の）友人です。夏休み中に長谷川さんと会う機会があり、「（仮想の）合格体験記」＝「柳沢の篠ノ井高校での実践（2017年5～6月）」の話をしました。その時、近く長谷川さんが某高校で進路講話をする予定があり、私の実践についての話が大きい参考になったという感想を聞きました。その進路講話の実践記録ともいえるのが次の文章です。それでは、どうぞ。柳沢克央

スタートはマーケットイン

悩みを解決する公式

さらなる危機感を喚起具体的に取り組む事項を学ぶ

あるべき姿としての〇〇体験記

この記事を書いた人 長谷川 正之 アグリフード（風土）アドバイザー

◆紹介者のあとがき……私（柳沢）の取り組みを参考にしてもらえたようで、うれしいです。ひとつのアイデアが人から人へと伝わり、進化していくようすが手に取るようにわかる気がします。こういう話がインターネット上で無料で読めるというのは、すごいことだと思っています。この次に会ったとき、長谷川さんから、さらに具体的な話を聴くことができれば、うれしいです。また、この話題とは全く別の、長谷川さんにしかできない話も是非、聴いてみたいと思います。その日が来るのをいまから（少しだけ）楽しみにしている私です。

（長谷川さんは、「私の理解したこの本の内容をズバリ一言でいうと…『最悪を想定し攻める！』」と書いています。柳沢さんの取り組みを取り入れた高校生への授業のお話、参考になります。エドワ）

⑥ 小室直樹氏に関連するブログ2編の紹介 柳沢克央さん (4ペ)

小室直樹氏に関連するブログの紹介。

日本のアノミー / 小室直樹 死す

◆紹介者のひとこと…小室直樹氏の著書『日本人のための宗教原論』（徳間書店・初版2000年）を読み、アノミーについて気になったので Google 検索してみた。ヒットしたサイトの中から、深く共感したブログを二つコピー&ペーストで紹介。いわゆる「岩波文化」に取り込まれずに、敢えて大衆的な出版社からルビ付きで出版する心境と意図は那邊にありや。最も素晴らしいと思ったのは※印。

※本当に頭のいい人っていうのは、難しいことを難しく語るだけでなく、難しいことを誰でもわかるように説明できるものだ。こうでなくてはなるまい。

(アノミー概念を発見したのは「社会学の始祖」E・デュルケム(フランス人, 1858~1917)だそうです。自殺の研究を通じて、「生活水準が急激に向上(劇落の場合だけではない)した場合にも自殺率が増加することを発見した」とのこと。 エト^り)

⑦ 紹介 なぜ大学のポスターは「世界にはばたき」「未来を拓く」ばかりなのか 柳沢克央さん (8ペ)

自称「大学コピーコレクター」の川上徹也氏の分析の紹介

◆紹介者のまえがき……グーグルで「こだわり」について検索していたら、下記のような文章を発見した。キャッチコピー(宣伝文句)の世界で活躍している人の発想のイイところを学びたいと思い、紹介することにした。「激しい」ところ、「鋭い」ところに共感した。この文章では「激しさ」は心意気だと捉えたい。ずっと気になっていたことの答がここにあると思った。では、ご覧あれ。

◆紹介者のあとがき……6 ページがこのレポートのヘソである。すなわち、「言葉を強くするための3力条, (1)決まり文句を避け, できるだけ具体的に書く。(2)言葉の化学反応を考える。(3)圧縮して言い切る。」である。

川柳, 俳句, 短歌などの定型詩の持つ強みは上記の三力条を良く満たしている。授業などで川柳が武器になる理由はここにあると思った。大学のキャッチコピーに川柳が登場する日もそう遠くないだろう。「先に気づいた者勝ち」である。若者の伝統的定型詩についての篠ノ井高校における感触はとても良い。これを生かさないのはもったいない。授業や他の活動のあらゆる場面で活用する価値は高い。

ただし, 公序良俗に反しないという常識的な節度は必要であるので, これは守るべきである。

(すでに授業で「定型詩」を活用している柳沢さんならではの紹介です。 エト^り)

⑧ 有機化学を川柳で 柳沢克央さん (2 ペ)

ー上田仮説サークル掲示板よりー

授業で紹介した川柳について、サークル掲示板でのやりとりの紹介。

◆まえがき…最近、上田仮説サークル掲示板で次のようなやり取りがありました。消えるに任せるのはもったいないのでコピペして紹介します。五七五の十七音を基本とする短い定型詩には俳句と川柳があります。本来の川柳は滑稽や風刺などを指すものですが、ここで取り上げた定型詩は他に呼びようがないので川柳ということにしました。

◆あとがき…「おもしろいな～。誰かに伝えたいな～」と思う出来事がある時、サークル掲示板に書くと、このように短時間のうちに反応してもらうことができます。そして、こうして短時間のうちに研究を進めることができ、とてもありがたいです。ネット社会の恩恵が実感できます。勉強に五七五を使う方法に私はさらに大きな展開を構想中です。もう少し頭の中で転がしておいて、時機が来たらサークルで検討してもらおうことにします。そのときはよろしくお願いします。

(「定型詩」は授業で大いに活用できそうです。柳沢さんの今後の研究が楽しみです。 エトワリ)

⑨ 出口治明氏(ライフネット生命保険株式会社・創業者)の講演「日本の未来を考えようー数字で考えるありのままの日本」メモ 柳沢克央さん (3 ペ)

ホテルメトロポリタン長野(2017.9.19)での講演の紹介。

◆メモを清書してみてヒトコト…講演者は三重県出身。今年古稀(70 歳)。物静かな語り口の中にユニークな発想と独特の説得力があった。参加者と一緒に晩酌を従っていたので、とても行きたかったのだが、直接話ができず残念。板倉さん、牧さんにも共通する知的でオープン・マインドな雰囲気・豊富で自由闊達な話題が素晴らしいと思った。10人以上の聴衆がいれば講演してくれるということなので、そのような場が設けられればいいなと思った。

(「面接試験で人物評価をすることに妥当性はあるか?」の問いに「(間髪入れず即答)ない」…印象的です。 エトワリ)

⑩ 大学を卒業しても正社員になれず、奨学金の返済に苦しむ社会人が多い。

そんな思いをさせないために、進学時点での選択が重要になっている

柳沢克央さん (2 ペ)

ブログ「株式日記と経済展望」より引用・紹介。

◆大学の学費が高騰を続ける2つの理由 7月8日プレジデント
少子化が進み、誰でも大学に入る「全入時代」になって久しい。学費の高騰が続くのか、奨学金やローンを借りてまで、大学進学する価値はあるのか。

■国立大学の学費は16年間で6割増加

■進学は金銭的価値が重視される時代に

(大学進学の意味をもう一度深く考えてみる必要がありそうです。 エントリ)

⑩ 紹介 デオキシリボ核酸の構造 柳沢克央さん (6ペ)

『世界の名著66 現代の科学Ⅱ』からの文章(ワトソン, クリック)と『NATURE』の掲載された英文の論文の紹介。

- ◇後藤健二さんがシリアに旅発った目的
- ◇イェスキリストは神か/人か
- ◇イェス・キリストは「神の子」か
- ◇「三位一体論」の神学的処理(佐藤見解)
- ◇神が主人で、人間は僕(奴隷)
- ◇ホップス『リヴァイアサン』の教会論と国家論
- ◇イスラームの宗教的寛容の根拠
- ◇「教会と国家の結合」を突き詰めて生まれた運動
- ◇ナザレのイエス
- ◇「ドイツ・キリスト者」運動を起こした人々

⑫ 新聞記事の紹介 柳沢克央さん (18ペ)

『この世』議論の件で見た英語の論文、初めて見た「三位一体論」の神学的処理(佐藤見解)

- ◇イェスキリストとキリスト教の違い
- ◇『この世』8月号の板倉論文(ドイツの国家主義論)
- ◇イェスによる執り成し
- ◇牧講演「二つの国家観」(日独の国家観はなぜ似てる)
- ◇『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
- ◇「ユダヤ教とキリスト教」(国民国家)
- ◇カトリックと過激派との親和性
- ◇カトリック派と資本主義は理屈じやない。偶然なのよ
- ◇農民戦争とルター

⑬ <今月の本紹介20>

- ◇アメリカ人の最上位アイデンティティ
- ◇アメリカ人/ヨーロッパ人と教会
- ◇アメリカにおけるプロテスタントの現状
- ◇教会への献金とギルバート・ギルバートの熱意
- ◇一神教は暴走しかねない(=あぶない一神教)
- ◇労働は罰(=キリスト教の根っこ)
- ◇市場経済が成り立つ条件(貨幣経済と賃労働)
- ◇ゲルマン法とローマ法
- ◇資本主義は偶然生まれた！(職業観+隣人愛+...)
- ◇アダム・スミスの「見えざる手」
- ◇神の「見えざる手」
- ◇現在の強欲資本主義と反ユダヤ主義
- ◇明治時代、東京大学で世界に最初にできた学部(種別)神学部

増田伸夫さん(36)

『要約』一神教は暴走しかねない！
◇アメリカにおけるイスラム台頭以前の脅威
◇ロミンテルン32年ターゼと「天皇制絶対主義」
◇アメリカのイスラーム政策はイスラーム自体が寛容
◇カタールのアラブが起さない理由
◇イスラーム過激派と死
◇イスラームとの構図(新書) 定価：本体780円(税別) 神学部

(2015年10月6日 第1刷発行 2015年10月21日 第2刷発行)

橋爪大三郎は東京工業大学名誉教授(社会学者)でユニテリアン 著書に『はじめての構造主義』(講談社現代文庫)、共著に『ふしぎなキリスト教』(同)。佐藤優は作家(元外務省主任分析官)でプロテスタント(カルヴァン派) 著書に『世界史の極意』(NHK出版新書)、共著『新・戦

*

これまで3つの一神教(ユダヤ教, キリスト教, イスラーム)について書かれた本を数冊ずつ読んできて、ある程度の基礎知識が得られたと感じた。そこで、今度は一神教相互の関連について書かれている本を読んでみたくなった。

本書は、『ふしぎなキリスト教』の共著者である社会学者の橋爪大三郎と、元主任分析官で作家の佐藤優との対談を記録したものである。ふたりは対談の中で、3つの一神教の関連から、日本社会やアメリカ社会と宗教の関係、さらに資本主義と一神教の関係にまで言及している。その対談内容を、今回も設問形式で紹介してみたい。

*

<一言で言えば>：一神教は暴走しかねない！

さて、この本の内容を一言でいえば「一神教はずるいロジックを使って暴走しかねない！ また、カルヴァン派と資本主義の関係は、理屈じやないのよ、偶然なのよ！」ということになるだろうか。

<本書の要約>

〔序章：孤立する日本人〕

〔第1章：一神教の誕生〕

〔第2章：迷えるイスラム教〕

〔第3章：キリスト教の限界〕

〔第4章：一神教と資本主義〕

〔第5章：「未知なるもの」と対話するために〕

*

<唯一神教は神による「創造」からはじまる！ その2>

前回読んだ『『コーラン』を読む』でも感じたことであるが、本書を読んで改めて<唯一神教は、神による「創造」からはじまる！>と強く感じた。

私から見れば屈辱的とも思える<神が主で、人間は僕>という関係も、じつは神による創造から出発していたのだった。「一神教では<神が人間を一人一人、個別に手造りした>と考える。すべての人間は、神のおかげで、置き換え不可能なかけがえのない人間として存在している。人間を創ったのは神だから、人間は神の所有物となり、だからこそ神が主人で、人間は（僕）奴隷>の関係となる」と。

また、<ホップズの国家論もアダム・スミスの市場原理も自然権（人権）も自然法も集団的自衛権も、それらはすべてキリスト教的発想から生まれたもの>だったんですね。本書を通じ、多くのことを学ばせてもらえたと感じた。読みやすい本である。多くの方に本書を勧めたい。（増田）

（イスラムについて理解を深めようとする時、「いまのアメリカの対イスラム政策が、世界的な規模でイスラム自身を変容させている可能性がある！」ということには注意する必要があると思いました。 エドワ

⑭ <信州岩波講座2017> 講義メモ 増田伸夫さん（8ページ）

講座Ⅱ (8/27(日))

須坂市メセナホール

加藤典洋 (文芸評論家／早稲田大学名誉教授) & 内田樹 (神戸女学院大学名誉教授)

講演①：加藤典洋「どんなことが起こってもこれだけは本当だ、ということ」 (13:30～14:30)

講演②：内田樹「<帝国>化する世界・<中世>化する世界」 (14:40～15:50)

③：会場からの質問に答えて (16:05～17:00)

信州岩波講座の講演会のメモの紹介

《講演①：加藤典洋「どんなことが起こってもこれだけは本当だ、ということ」メモ》

- ◇どんなことが起こってもこれだけは本当だ、ということ
- ◇日本の歴史における思想変更 (予想変更)
- ◇変わらない (予想変更できない) 例
- ◇変わる (予想変更する) ことが求められていること
- ◇リベラルな護憲論と変態力
- ◇<どんなことがあっても、戦争はイヤだ>

[加藤講演をヒトコトで言うと…変われること (予想変更できること) が大事だ=<どんなことがあっても戦争はイヤだ>という心情をもとにして、護憲論にも変態力を]

《講演②：内田樹「<帝国>化する世界、<中世>化する世界」メモ》

- ◇加藤氏の「2階建て論」
- ◇ボクの得意技
- ◇賞味期限切れになっているもの
- ◇オスマン帝国と「指南力」を放棄したアメリカ
- ◇日本のとるべき道 (内田案)
- ◇世界の合計特殊出生率

[内田講演をヒトコトで言うと…いまや国民国家は賞味期限切れとなり、世界は帝国化している＝歴史は進歩するとは限らないし、経済は成長し続けるとも限らない。そういう時代では、信頼や友情がより価値を持つことだろう]

《会場からの質問に答えて》

《増田さんの感想》：加藤典洋は訥弁。でもなぜか、言葉が心に迫ってくる。それに対して、内田樹は明るく軽妙。笑いも取る。でも軽すぎないか？ 対照的なお二人だった。

(現在の社会情勢を分析するとき、「護憲論の変態力」, 「世界の帝国化」がキーワードになりそうです。 エトダ)

⑮ 隕石はどこからくるのかに関する問題集 渡辺規夫さん（4 ペ）

「隕石はどこからくるのか」についての質問と問題。

この問題集は実藤清子さんの資料「隕石はどこからくるのか」2017年5月8日小改訂を読み、その中に出てくる問題を、高校の物理の授業で使える形にしたものである。

[質問] 隕石はどこから来るのでしょうか。

18世紀の終わり頃には3つの説がありました。

- ①火山の噴火で飛び出したものが落ちてきた。
- ②月の火山の噴火で飛び出したものが落ちてきた。
- ③宇宙から飛んできた。

どの考えが正しいかをどうやって判断したらいいのでしょうか。

この問題はクラドニという物理学者が18世紀の終わり頃に取り組んだ問題です。私たちがクラドニと一緒に考えてみましょう。

[問題1] から [問題3] まであります。火山の噴火から飛び出した噴石が月まで行って戻ってきたときの速さを求め、隕石の地表面への落下速度と比較し、隕石がどこから来たのか判断する内容になっています。

(隕石の落下速度がわかれば、その隕石がどこから来たものか(地球から飛び出したものが戻ってきたもの、または宇宙から来たものか)がわかる。クラドニという人は初めて知りました。 エドワ)

⑯ 私の理解している 板倉矛盾論と科学史研究 渡辺規夫さん（8 ペ）

板倉矛盾論を科学史研究史上に位置づける試論。

<はじめにより>

板倉先生の科学史の論文の大きな特徴は、矛盾論にもとづき論じられていることである。しかし、科学史学会の中では、矛盾論に注目している人はほとんどいないようだ。また、この矛盾論を継承して発展させているという科学史家も見当たらない。

板倉矛盾論は、科学史学会の中では、正当に評価されているとは言えないようだが、仮説実験授業を作り上げる上で大きな役割を果たしたことは確かである。この試論は、板倉矛盾論を科学史研究史上にどのように位置づけるべきかを明らかにしようというものである。そのような位置づけをすることができれば、今後の科学史および仮説実験授業の研究に生かすことができるであろう。

(中略)

世の中で解決困難となっている問題の多くが、このように矛盾を含んでいる。そこで、研究課題をどのように発見したらいいかと言うと、このような矛盾が見えたところに焦

点を合わせるとよいのではないかという予想が成り立つ。

板倉先生の科学史の論文はいずれもそうした矛盾に目をつけて問題設定したものなのである。

そこで、板倉先生の若いときに書いた論文の中で矛盾がどのように扱われているか調べてみることにしたい。

板倉修士論文「物理学と矛盾論」の検討

論文「物理学と矛盾論」を書く目的

1. 量子力学における粒子性と波動性
2. 古典力学における力と運動の矛盾

科学史上に表れた力と運動の矛盾

ガリレオの考え—*impetus* は消耗しない

付記 ニュートン力学と微分学

参考資料 「板倉談話 言葉を選び取る能力が大事」

(「基本的な矛盾を認識することで、理論が成立した」とありますが、<矛盾を認識する>ということが至難のわざのようです。 エドワ)

⑰ 感動の皆既日食を味わう 北村知子さん (4 ペ)

—2017年8月21日オレゴン州カニータリゾートにて—

アメリカ・オレゴン州で体験した皆既日の感動の報告。

以下に知子さんの感動の実況中継を紹介します。

アメリカ・オレゴン州 warm springs, カニータリゾート。

2017年8月21日、やや薄雲の見える朝を迎えました。いよいよ皆既日食が観測される朝です。過去、2回の皆既日食観望へのトライが1回目は雨、2回目は雲にはばまれてだめだったので、今度こそ見えてほしい。絶対に生でダイヤモンドリングが見たい！と心の底から思いました。

そして、いよいよ第一接触。ツアーに参加する前に思い切って買った10万円以上もする広角レンズをつけたカメラ。5分に1回ずつシャッターを切っていくことにしました。

第一接触後、欠けていく太陽をピンホールカメラの原理で穴あきカードで子供達に見せているうれしげな夫。その後、なんだか気温が下がって涼しくなったな—という感じがしてきて、あきらかに光の量も減って夕焼けのような明度になってきました。無理もない、太陽が半分以上欠けてきたんだから。

いよいよ第二接触。私が一番見たかった瞬間です。直前にフィルターをはずします。

前回、オーストラリアの皆既日食のときにはここで雲が出てきて第二接触～第三接触が見えなかったんだっけ。今回は見えてほしい！

生のダイヤモンドリング！歓声が上がります。やったー。ついにダイヤモンドリング

を見たぞ。右側から欠けていったので、第二接触のときのダイヤは左にありました。

そして皆既。黒い太陽が白いコロナに包まれて天空にいます。

第三接触。ダイヤモンドリングがいくらかピンクに色づいて見えるのはプロミネンスが相当派手に吹き上がっているってこと？

そして順調に明度が回復していき、皆既日食を楽しんだ感動の約2時間半が終わりました。

終わってから、皆さんと写真におさまったり、感動を分かち合ったり、皆既日食を伝える現地のTVニュースを見せてもらったりしました。

お昼ご飯のメキシコ風のバイキングもおいしかったです。

(「やったー。ついにダイヤモンドリングを見たぞ。」…知子さんの感動の言葉です。 エトワリ)

⑩ おだんごパズル 高見沢一男さん (5ペ)

おだんごパズルの研究の報告。

1 ”新” 正四面体パズル

山田正男さんからレポートの続きを送っていただきました。そこには正四面体パズルの新しい組み方が載っていましたので、さっそくビー玉で作ってみました。前崎彰宏さんの「4 (フォー) セイム」と同様、4つのまったく同じピースから正四面体を作るパズルです。全体で20個の球のパズルですが、さまざまなパズルができることにとっても感動しました。また、数学的に組み合わせ方を考えてゆく山田先生の方法は、パズル作成だけでなく、さまざまな可能性を考えなくてはならない事柄に応用できるなーと感じました。

2 ”新” ミニ正四面体パズル

同じレポートに、10個のビー玉で作るミニ正四面体パズルも載っていましたので作ってみました。5個×2のものですが、同じ形ではなく左右対称のパーツになっています。パーツが少ないパズルほど、ちゃんと組めたときのインパクトが大きいような気がしていますがどうでしょうか。

3 三角並べと四角並べが同じであることを示す模型

ビー玉でパズルを組んでいるうちに、最密充填について調べるようになりました。

オレンジを店先にぎっしり並べる方法には2通りあります。3個のオレンジに対して1つの窪みができ、その窪みにオレンジを置いたものが三角並べ(六方最密充填)です。一方、4個のオレンジに対して1つの窪みができ、その窪みにオレンジを置くと四角並べ(立方最密充填)になります。三角並べで立体を作ると、正四面体ができ、四角並べで立体を作ると、正八面体ができます。両方とも充填率は74.05%で、これが一番ぎっしりとオレンジを積む方法であることを1611年にケプラーが発表しました。(証明はしなかったのが「ケプラー予想」と呼ばれていました。この予想は、1998年になってミシ

ガン大学の数学者トーマス・ヘールズが、コンピューターを大々的に利用する方法で証明を成し遂げました。しかし、査読チームは「証明が正しいことは99%まで確信できたが、完全なる確信には到達できなかった」という報告を4年後に提出して解散してしまいました。ヘールズは2003年に徹底的に精査するプロジェクトを立ち上げ、「コンピューターによる証明をコンピューターによって証明する」試みを始めています。これには20年くらいかかるだろうと考えられています。)

三角並べ(六方最密充填)と四角並べ(立方最密充填)はまるで違った並べ方のように感じられますが、実は全く同じ並べ方であることをケプラーも指摘しています。「ケプラー予想」(ジョージ・G・スピーロ著 青木薫訳 新潮文庫)という本にその模型が載っていましたので、ビー玉で作ってみました。

(高見沢さんは、いろいろなパズルをビー玉で作って試していて、サークルで紹介してくれています。エドゥ)

⑩ 矛盾論について考える 渡辺規夫さん(3ペ)

矛盾論について。

(このところ渡辺さんは板倉先生の「矛盾論」について、深く研究を進めています。今後いろいろな発見が出てきそうで楽しみです。エドゥ)

あとがき 10月に入り雨の日が多く、例年より寒いが続いています。今年の秋は短そうで、冬がすぐに来そうです。今年はストーブの使用もはやいようです。



職場では、就職試験が一段落、今度は進学者の面接練習で追われています。(エンド

ウ)

★ 今後の予定 ★	
11月	25日(土)
12月	16日(土)
1月	27日(土)